

2019年5月23日
商工中金

「事業性評価セミナー（熊本）」の開催報告

商工中金は、2019年5月20日に熊本地方合同庁舎（熊本市）にて、金融機関向けの事業性評価セミナーを行いました。

本セミナーは、財務省九州財務局が主催し、商工中金の青木剛常務執行役員が講師を務め、事業性評価に関心を持つ熊本県内の金融機関、信用保証協会、よろず支援拠点の役職員など、約140名の皆さまにご参加いただきました。

商工中金の青木剛常務執行役員は、「金融機関の王道を行く～事業性評価を起点とする経営支援サービス事業～」と題し、低金利下での貸出競争の激化などを例に挙げ、地域金融機関を取り巻く環境の変化や顧客ニーズの多様化などを紹介しました。その上で、AIやフィンテックなどの新たな競争相手が台頭する中、中小企業の経営課題や根源的なニーズをつかむツールとして、事業性評価が金融機関にとって最大の武器になることを強調しました。

講演後には、「事業性評価の対象をどのように選定すべきか?」、「スキルの伝承、人材育成のポイントは?」といった質疑応答が行われ、聴講者の関心の高さが伺えました。

商工中金は、地域金融機関とともに、お客さまの課題解決に繋がる本業支援を行うことで、中小企業の企業価値向上を図り、地域経済の発展に貢献していきます。



（写真右：商工中金 青木常務執行役員）